

---

# 平成28年度 事業運営計画 一部変更

---

平成29年1月

# 中期経営計画と事業運営計画の位置付け

- 事業運営計画では、中期経営計画にて設定している各分野・重点取組課題における評価指標について、各年度に取り組むべき目標を、以下の評価指標の種類に応じて設定しています。

## 【評価指標の種類】

指標	定義
定量指標	期初に承諾件数やプロジェクト・事業件数等定量目標値を設定し、期末にその達成状況进行评估するもの
定性指標	期末に案件への取組等を定性的に評価するもの
マイルストーン指標	中計期間に亘る取組を必要とする課題に対して、初年度に3年間のマイルストーン（年度毎）を設定し、期末にその達成度を評価するもの（必要に応じて各年度の目標値は変更可能）
モニタリング指標	期末の実績値のみを集計し、経年変化をモニタリングするもの

- 事業運営計画において設定された目標の達成度合いについては、次頁の評価基準に基づいて、以下の外部委員及び社外取締役により構成される経営諮問・評価委員会により評価を受けます。

## 【経営諮問・評価委員】

氏名	職業
浦田 秀次郎	早稲田大学大学院 アジア太平洋研究科 教授
小泉 慎一	株式会社国際協力銀行 取締役（社外）
鈴木 美勝	株式会社時事通信社 解説委員
高木 勇三（委員長）	監査法人五大 会長 代表社員 公認会計士
藤原 美喜子	アルファ・アソシエイツ株式会社 代表取締役社長
吉江 純彦	年金積立金管理運用独立行政法人 監事

（50音順、敬称略）

# 評価基準

## 【定量指標の評価基準】

定量指標（案件関連）		達成度	評価点
分野全体での承諾件数	定量基準1 (標準的な目標値設定)	125%以上 ~	5
		100%以上 ~ 125%未満	4
		75%以上 ~ 100%未満	3
		50%以上 ~ 75%未満	2
		~ 50%未満	1
<ul style="list-style-type: none"> <li>● ①資源・②インフラ・③産業の3分野の重点取組課題における承諾プロジェクト・事業件数</li> <li>● ⑥特別業務及び⑦出資における承諾件数 <span style="border: 1px dashed red; padding: 2px;">新設</span></li> </ul>	定量基準2 (戦略、政策的配慮等により相当意欲的な目標値設定)	100%以上 ~	5
		75%以上 ~ 100%未満	4
		50%以上 ~ 75%未満	3
		25%以上 ~ 50%未満	2
		~ 25%未満	1
定量指標（案件以外）		達成度	評価点
中堅中小分野のセミナー・研修会等の数	定量基準3	110%以上 ~	5
		100%以上 ~ 110%未満	4
		90%以上 ~ 100%未満	3
		80%以上 ~ 90%未満	2
		~ 80%未満	1

## 【マイルストーン指標の評価基準】

	内容	評価点
マイルストーン指標	目標として掲げたマイルストーンを予定を上回る進捗度で達成	5
	目標として掲げたマイルストーンを予定どおり達成	4
	進捗に若干の遅延があるものの、概ね予定どおり達成	3
	進捗に大幅な遅延があるものの、中長期的に挽回が可能	2
	進捗に深刻な遅延があり、マイルストーンの見直しが必要	1

# 評価方法

- ①資源、②インフラ、③産業分野

以下のとおり、夫々の評価項目をウェイト付した上で評価。

	ウェイト	
i. 承諾案件に関する取組のうち		40%
a. 分野全体での出融資保証等承諾件数に係る定量評価	50% (1/2)	
b. 上記の承諾案件への取組の質に係る定性評価	50% (1/2)	
ii. 重点取組課題に係る取組のうち		40%
c. 出融資保証等承諾を行ったプロジェクト数・事業数に係る定量評価	66.7% (2/3)	
d. 当該年度に承諾を予定しない中長期的な案件形成の取組や当該年度に承諾に至らなかった案件への取組に係る定性評価	33.3% (1/3)	
iii. 承諾案件以外についての取組（既往案件管理上の取組や、個別案件には紐づかないものの特筆すべき取組（政策対話による案件形成支援等））に係る定性評価		20%
<b>総合評価</b>		<b>S~D</b>

# 評価方法

- ④中堅中小、⑤環境、⑥特別業務、⑦出資 新設

以下のとおり、夫々の評価項目をウェイト付した上で評価。

		ウェイト
iv. 承諾案件（中堅中小においてはセミナー・研修会も含む）に関する取組のうち		66.7% (2/3)
e. 出融資保証等承諾件数（中堅中小においてはセミナー・研修会等の数も含む）に係る定量評価	50% (1/2)	
f. 上記への取組の質に係る定性評価	50% (1/2)	
v. 上記iv以外の取組（当該年度に承諾を予定しない中長期的な案件形成の取組や当該年度に承諾に至らなかった案件への取組、既往案件管理上の取組や、個別案件には紐づかないものの特筆すべき取組）に係る定性評価		33.3% (1/3)
<b>総合評価</b>		<b>S~D</b>

- その他の重点取組課題

各重点取組課題における個別課題や具体的取組施策に対する、各指標の評価に基づく評点を単純平均した上で評価。

## 【評価結果一覧】

内容	評価	相当する評価点
特に優れている	S	5
優れている	A	4
標準	B	3
標準を下回る	C	2
標準をかなり下回る	D	1

# 評価指標（資源）

## 1.資源分野

### 全体指標

評価指標	種類	3年通期 目標	H28年度 目標
我が国企業による資源権益取得、引取、販売権取得に資する事業等に対する出融資保証等承諾案件数	定量1		6
上記案件への取組に係る質的評価	定性		
上記の承諾案件による我が国の石油、天然ガス、銅鉱石、鉄鉱石、石炭新規権益取得・引取量	モニタ リング		

(参考)

H27年度 実績
12

<重点取組課題：我が国企業の資源ビジネスの支援推進>

### 1-1 資源の調達先の分散や安定確保に資する案件の推進

- ホスト国政府・国営石油ガス会社・資源メジャー等との交渉力やリスク・コントロール/アロケーションの知見を活用し、資源国のカントリーリスクテイクを行いつつ、案件形成・実現を支援。また、先端技術を活かした資源開発や、関連インフラと併せた総合的な資源開発を支援。

(参考)

評価指標	種類	3年通期 目標	H28年度 目標
先端技術活用プロジェクト・総合的な資源開発プロジェクトへの対応や、対外交渉力等の発揮を通じて、出融資保証等承諾を行った資源プロジェクト数	定量2	11	3
上記の重点取組課題に関する取組のうち、当該年度に承諾を予定しない中長期的な案件形成の取組や当該年度に承諾に至らなかった案件への取組	定性		

H27年度 実績
3

### 1-2 LNG調達コスト低減に資する案件の推進

- LNGについては、1-1の具体的取組に加え、長期的なLNG調達価格低減に資する案件の形成・実現を支援。

(参考)

評価指標	種類	3年通期 目標	H28年度 目標
対外交渉力等を発揮しつつ出融資保証等承諾を行った、我が国のLNG調達価格低減に資するLNG関連プロジェクト数	定量2	5	1
上記の重点取組課題に関する取組のうち、当該年度に承諾を予定しない中長期的な案件形成の取組や当該年度に承諾に至らなかった案件への取組	定性		

H27年度 実績
2

# 評価指標（インフラ）

## 2.インフラ分野

### 全体指標

評価指標	種類	3年通期 目標	H28年度 目標
我が国企業のインフラ海外展開案件に対する出融資保証等承諾案件数	定量1		10
上記案件への取組に係る質的評価	定性		

(参考)

H27年度 実績
8

<重点取組課題：我が国企業のインフラ海外展開の多様化・高度化への支援推進>

### 2-1 社会インフラ案件(鉄道、水、情報通信等)への取組強化

- 社会インフラセクターにおいて、ホスト国政府等との密接な関係や海外キープレイヤーとの交渉力を活かし、初期段階からの事業参画の枠組み整備・案件形成への関与を進めるとともに、リスク・コントロール/アロケーションの知見や様々な金融ツールを活用することにより、我が国企業によるインフラシステム展開等を支援。

(参考)

評価指標	種類	3年通期 目標	H28年度 目標
対外交渉力を発揮しつつ出融資保証等承諾により支援を行った、社会インフラシステム・プロジェクト数	定量2	2	2
上記の重点取組課題に関する取組のうち、当該年度に承諾を予定しない中長期的な案件形成の取組や当該年度に承諾に至らなかった案件への取組	定性		

H27年度 実績
1

### 2-2 電力案件の円滑な実現への取組強化

- ホスト国政府や海外キープレイヤー等に対する影響力やリスク・コントロール/アロケーションの知見、様々な金融ツールを活用し、高効率発電や再生可能エネルギー発電分野等において、従来の国・地域、手法の枠を超えて、我が国企業の先端技術の海外展開や個別プロジェクト参画を支援。

(参考)

評価指標	種類	3年通期 目標	H28年度 目標
対外交渉力を発揮しつつ、従来の国・地域、手法の枠を超えて出融資保証等承諾を行った、高効率発電・再生可能エネルギー発電等のプロジェクト数	定量2	8	3
上記の重点取組課題に関する取組のうち、当該年度に承諾を予定しない中長期的な案件形成の取組や当該年度に承諾に至らなかった案件への取組	定性		

H27年度 実績
4

# 評価指標（産業）

## 3.産業分野

### 全体指標

評価指標	種類	3年通期 目標	H28年度 目標
我が国企業による海外事業展開を支援する出融資保証等承諾案件数	定量1	/	96
我が国企業による輸出取引に対する出融資保証等承諾案件数	定量1	/	16
上記案件への取組に係る質的評価	定性	/	/

(参考)

H27年度 実績
117
16

<重点取組課題：世界市場における我が国産業の優位性強化・成長機会の拡大に向けた支援推進>

### 3-1 我が国の経済基盤を支える各種産業の海外事業展開に対する支援の強化

- 企業の戦略策定段階からのコミュニケーションや、海外リスクテイクの強化等を通じ、我が国の経済基盤を支える各種産業の海外事業投資を通じた収益機会の更なる獲得を支援。

評価指標	種類	3年通期 目標	H28年度 目標
企業の戦略策定段階からの関与や、海外リスクテイクの強化等を通じて、出融資保証等承諾により支援を行った事業数	定量2	17	2
上記の重点取組課題に関する取組のうち、当該年度に承諾を予定しない中長期的な案件形成の取組や当該年度に承諾に至らなかった案件への取組	定性	/	/

(参考)

H27年度 実績
4

### 3-2 我が国の競争優位にある技術・ビジネスモデル等の海外展開支援を通じた成長産業化への貢献

- 我が国企業が有する技術、ブランド、ビジネスモデル等の強みを活かして、海外市場における商業化や市場獲得等を通じて成長産業へと発展する成長シナリオの実現を支援。

評価指標	種類	3年通期 目標	H28年度 目標
出融資保証等承諾により支援を行った、将来の成長産業育成に資する事業数	定量2	11	1
上記の重点取組課題に関する取組のうち、当該年度に承諾を予定しない中長期的な案件形成の取組や当該年度に承諾に至らなかった案件への取組	定性	/	/

(参考)

H27年度 実績
4

# 評価指標（中堅中小及び環境）

## 4.中堅中小分野

<重点取組課題：中堅・中小企業の海外展開支援>

### 中堅・中小企業の海外展開に対するJBICの特徴を活かした支援

- 民間金融機関とも協調しつつ、中堅・中小企業のニーズ（現地通貨建融資等）を踏まえ、中堅・中小企業の海外事業展開を通じた収益機会獲得をJBICの特徴を活かして支援（出融資保証等承諾の他、融資相談・情報提供を含む）。

(参考)

評価指標	種類	H28年度 目標	H27年度 実績
中堅・中小企業向け出融資保証等承諾案件数	定量1	116	133
上記のうち、地域金融機関と連携した案件数	モニタ リング		44
中堅・中小企業及び民間金融機関を対象とした中堅・中小企業の海外展開支援セミナー・研修会等の数	定量3	68	83
上記取組に係る質的評価	定性		
支援した中堅・中小企業の数	モニタ リング		

## 5.環境分野

<重点取組課題：気候変動対策を含む地球環境保全への積極的貢献>

### 気候変動対策を含む地球環境保全に資するプロジェクトへの取組強化

- 国際的な議論や、我が国やホスト国政府等の当該分野の政策を踏まえ、ホスト国政府に対する影響力やリスク・コントロール/アロケーションの知見を活かしつつ、地球環境保全業務（GREEN）その他様々な金融種類を活用することにより、気候変動対策を含む地球環境保全分野における我が国企業やホスト国政府等の取組を支援。

(参考)

評価指標	種類	H28年度 目標	H27年度 実績
環境関連案件（再生可能エネルギー、省エネルギー、高効率発電を含む）に対する出融資保証等承諾案件数	定量1	5	7
上記案件への取組に係る質的評価	定性		
新規出融資保証等承諾案件による出融資保証等の期間における温室効果ガスの排出削減見込量（CO2換算）	モニタ リング		

# 評価指標（特別業務及び出資） **新設**

## 6. 特別業務

<重点取組課題：特別業務による海外の社会資本整備に関する事業の支援強化>

### 特別業務による海外の社会資本整備に関する事業の支援強化

- 改正法に基づき2016年10月より新たに開始した「特別業務」を活用し、ホスト国政府との対話等を通じたリスクコントロール及び関係当事者との適切なリスクシェアを行いつつ、更なるリスクテイクを通じ、海外の社会資本整備に関する事業を一層支援。

評価指標	種類	H28年度目標
特別業務による社会資本整備に関する事業に対する出融資保証等承諾案件数	定量2	2
上記案件への取組に係る質的評価	定性	

## 7. 出資

<重点取組課題：出資によるリスクマネー供給強化>

### 出資によるリスクマネー供給強化

- 2016年10月より新たに設置した「エクイティファイナンス部門」の下、出資業務に係る機能を集約してノウハウ蓄積・専門性強化を図り、戦略的な出資業務展開を可能とするための体制整備を進めつつ、出資を通じたリスクマネーの供給を強化。

評価指標	種類	H28年度目標
出資案件の承諾案件数	定量2	3
上記案件への取組に係る質的評価	定性	

# 評価指標（民間資金動員）

## 8.民間資金動員

<重点取組課題：民間金融機関等との連携強化を通じた民間資金動員の拡充>

### 民間資金動員の更なる拡充

- 債権流動化施策推進に向けた取組の拡充

評価指標	種類	目標
海外リスク案件（但し、輸出案件及びソヴリン案件等を除く）のうち、将来の流動化を念頭に融資組成を行った案件の割合	モニタリング	
債権流動化による民間資金動員拡充施策の着実な実施と、これを踏まえた課題の抽出・追加施策の要否検討	マイルストーン	H27:流動化実施に係るルール等の整備、投資家アペタイトの深掘り調査と信託スキームやポートフォリオ型等の流動化スキーム高度化に係る検討 H28:ポートフォリオ型流動化の机上分析の実施と、投資家のアペタイトを踏まえた高度化スキームによる流動化の実施可能性の検討・実施。流動化推進のための態勢検討 H29:高度化スキームを含めた流動化実施態勢の構築完了、課題抽出・追加施策の要否検討

- 出資・劣後ローン・LBOファイナンス等によるリスクマネー供給等を通じた民間資金動員の推進

評価指標	種類	目標
本行出融資保証等承諾案件による民間資金動員額（レバレッジ比率）	モニタリング	
民間資金動員推進のための施策の検討・実施	マイルストーン	H27:多様な金融ツール活用、リスクマネー供給促進を通じた民間資金動員策の検討 H28:リスクマネー供給拡充策の検討及び策定（出資・劣後ローン・LBOファイナンス等） H29:ソフト・ミニパーム・ローン等の多様な金融ツール活用による、リスクマネー供給等を通じた民間資金動員手法の拡充実現と、課題抽出・追加施策の要否検討

- 外部金融環境の変化や個別案件の特性に応じた適切な協調融資組成の更なる推進

評価指標	種類	目標
適切な協調融資組成の更なる推進のための施策の検討・実施	マイルストーン	H27:協調融資組成等の民間金融機関との連携実績等のレビューと、民業補完運用の適正化策の検討 H28:連携実績等の継続レビューと適正化策の更新・実施 H29:連携実績等の継続レビューと適正化策の更新・実施

## 組織・財務分野

- 組織・財務分野においても、重点取組課題に沿った組織能力強化・財務安定性の維持・強化等のための取組を進め、各期末に実績評価を行います。